いわき民報

平市田町48　電381
編輯兼發行人 兼印刷人　千輝克已
日刊　但月曜を除く
定價1月40円
1部1円50錢
發行所
いわき民報社

四千五百萬圓はね上る 市の豫算

市民負擔も一人六千圓

平市明年度予算市會は二十一日招集、一週間の會期で予算案を審議する、新予算案は物價の値上りと警察、常備消防職員並に市吏員の給與等人件費が大きいため昨年の二千五百萬円より約倍にはね上つた四千五百萬円にのぼる見込みだがこの膨大な市の台所をまかなうため二十四年度は昨年の一世帶當りの負擔額六千三百九十九円の倍近い負擔となる計算である、新當初予算案は次の通り

一般會計（單位は千円）

△會議費四五六△市役所費二一、七七五△警察警防費一一、二四〇△土木費一、六二九△教育費四、〇五四△社會勞働施設費六、八九〇△保健衛生費二、二九八△産業經濟費一、〇二四△地方振興費七八七△都市計畫事業費三、一四六△財産費二二六△統計調査費二〇一△選擧費一〇三△公債費八四三△諸支出金九一三△予備費九〇〇

特別會計

△水道事業費三、四七六△瓦製造工場一、四二八

電話新加入二百件か

公債つきでも申込み殺到

平局では二十二、三兩年度分の電話加入申込受付を十一日より行つているが十四日現在までの受付件數は八十件に達し二十一日の締切日までには二百件以上の加入を見込んでいる、この期間中に受付けたものの受理決定は二十八日の審定で來月五日までに電話公債代金三万六千円を拂込めば二ケ月以内に開通する、同局では今度の加入受付期間中に申込ないと今後は新規加入を當分認めないようになるしまた電話公債も更に値上になる模樣なので希望者へ特に注意している現在の磐城山、鎌田、大平前方面を除いては加入申込みさえすればこれを全面的に受付けて架設工事を行うことになつている

列車取締り

悪質五件送る

平自治、地區兩署では十三日又も常磐線上り列車四本を急襲總取締件數五十六、中悪質送檢五件、無主物十六個及び左の物資を押收した、米五斗半、雜穀百七キロ件、甘藷川貫

"家族の聲を聽く"

平石炭局が懸賞募集

平石炭局では石炭增産の一役を背負つて内助の功にいそしんでいる炭鑛從業員の家族から"炭鑛從業員家族の聲"と題し、左の方法で懸賞募集を行うことになつたが入選した家族たちの聲は局報、新聞ラヂオ等により發表すると共に實際面にどしどし活用することになつた

◇應募資格　炭鑛從業員の家族（主として主婦、兄弟姉妹）

◇宛先　平石炭局（炭鑛投書箱活用のこと）

◇〆切　三月十五日

◇發表　三月二十五日

◇薄謝、入選五百円＝三名、努選三百円＝五名　佳作百円＝五名

◎問題　炭鑛從業員の家族として炭鑛生活中の感想及び御存じの事柄を左記によつてお書き下さい

（一）あなたの炭鑛では二月中に何屯出炭（石炭局目標と炭鑛の目標明示のこと）することになつていますか

（二）日々の職場に明るく送つてあげる方法（經驗でもよく新しく實行したいと思うことでもよい）

（三）これだけはよいと思うこと（炭鑛においてこそ特に有難いことだと思うこと等）

（四）事業主や政府に望むこと（住宅のこと、賃金のこと、配給のこと厚生施設のことその他何んなり）

（五）右の外特別の感想があるとき

設計と建築
平建設興業株式會社
仲町六（電呼九〇六）
社長　金古政通
專務　片寄傳右衛門

災害死傷者浮ばれぬ

保險料の滯納で補償費無し

平勞働基準監督署では既報の如く十四日から勞災保險料滯納者の一齊整理に着手したがこの滯納額が多いため災害補償支拂が円滑にゆかず、監督署でも困り切つている、即ち一月から今月十四日までの災害死傷者十六名に對する遺族補償費五百万円の支拂が不能となつており、今後は從來のなまぬるい手を一變して滯納事業所に對しては同期間中に發生した事故に對して保險料は支拂はない事になつた、そのため直接各事業所にも影響が多いので速かに災害保險料を納入する樣強く要望している

馬鹿陽氣の悲劇

みかんの腐敗に業者泣く

十數年來の馬鹿陽氣でみかんの生産地靜岡方面は稀れに見る豐作とあつて平地方にも、どつとなだれこみ、各商店ともみかんの山を築き、今日この頃の金詰りが影響してか賣行きもストップどこもここもたなざらしの狀態であるが此のみかんは貯藏が不備な爲一齊に腐敗を生じ各商店ともくさつてゆくみかんをながめながら手の施しようもなく、大損害を蒙つている、平青果物組合をのぞいて見る

此處では舊冬十一月來から今月十四日までのみかんの腐敗損害はざつと二百六十萬円、同所でもクサリ切つている、此の主な原因は新正月の順調な購買力に氣をよくし、舊正月にも同樣大量仕入れたところ、生産地價格が二割方値上げされ、從つて小賣價格もそれに順じて値上げしたのがタツテ予想を裏切り購買力は低下する一方、又この頃の馬鹿陽氣のため配給肥料が惡いので果實が不充分だつた、更に貯藏法と深刻な金詰りといふ三つの原因によるものらしい

なお都市全體の腐敗した數量はおびただしいものがあり、總額で四百五十萬円にも上るものと見られている

電化速進の署名

期成同盟會が動く

常磐線電化促進期成同盟會では同運動の促進を圖るため平市から五百名、石城郡下から三千二百名以上の署名を得るため近く一齊に署名運動を起すことになり、十六日ごろ石城町村長會議と同運動の方法など具體的に協議することに

チブス發生

同居三十名も消毒

市内南町椅子職津倉功さん（二二）は去る五日頃より病臥中であつたが、十五日午後二時眞性腸チブスと決定直ちに隔離收容された　なほ同居者が三十名もあり一齊消毒を行つて防疫に努めているが一應疑似者とみられている

配給パン券

十五日より（平）

食糧配給公團平支所では十五日より前回の殘り分として一人一個の割でパン券を發行する、なお前回と今度のパン券は今月中に使用しないと券を回收する都合があるので無効となるから一般消費者は注意が肝要である

オムツ二百枚

市配給課では十七日より五日間先に申込んだ者で代金拂込濟の受領證引換にオムツを二百枚配給する

トラックが暴れ込む

菊屋樂器店が被害

十五日午前六時ごろ市内三丁目常陽銀行支店前の十字路で銀座通り方面からきた市内龍宮町龍口材木店方のトラックが四丁目方面へカーブを切る際全方面から來た仙台貨物運輸會社所屬の郵便車と接觸、郵便車は角の菊屋樂器店（加藤忠之氏）に飛びこみ同店のオルガン（九千円相當）ほか架飾硝子戸、ウインドウー等を大破した

菱沼教育課長着任

渡邊石城地方事務所教育課長の後任として綴合村小學校長菱沼儀氏（四三）が任命され七日着任した

内郷中の學藝會

内郷町第一中學校及びPTA連合の學藝會は二十七日午前九時から綴野記念館にひらく

健保組合で町立病院

小名濱町の計畫

小名濱町では十六日午前九時から厚生、民生兩委員會連合會議を開き、健康保險組合の運營並に町立病院の設立等に關し協議、健保の運營方針を確立することになつた

又二名起訴

配炭公團の收賄

五日夕刻平地區自治署に强制收容された配炭公團調整課第一係長大平勝（二八）並び赤井地區主任渡邊二郎（三五）の兩氏は十五日平刑務支所に身柄を押送され同時に既報の瀆職容疑の收賄罪で起訴された

カルモ自殺

離婚を苦にし

四倉町新町無職今井八重子さん（二二）は去る十二日午前八時頃自宅でカルモチンを飲み自殺を計つたが遂に十三日午後二時頃死亡した　原因は昨年夏頃性格上の不一致で夫と別れたのを苦にしたためらしい

引責自殺

赤井村の身許判明

「既報」十三日午前十時赤井村常住北山林地内（平坑附近は誤り）の縊死体は舊冬十二月から行方不明となつていた仝平坑機電係大越寅吉さん（五四）と判明　仝人の遺書に機電夫でありながら故障ばかりおこして申譯ない死んで會社に御詫びする

矢郷勞組の公判

二十一日に延期

矢郷炭鑛勞組松本佐吉氏ら七名提起「解雇通告停止假處分」公判は經營者の矢郷炭鑛氏より「他に立證方法がある」との申立てにより來る二十一日に延期された　なお本訴の「解雇通告無効確認」民訴公判は期日未定

いわき寸言

▲平市の豫算、四千五百万円にはね上る、三万三千市民一人當りの擔稅六千三百円也稅金で破産を覺悟肝要

▲溫暖異變でみかん腐る、但し勞働能率は上昇し、貧乏人には喜ばしい陽氣

▲三、九原則を遵守する勞組あり、ストライキを宣傳する共産黨員の良策か

▲電化促進運動、遲遲たりと雖たゆまざるべし

民報論壇

放送局昇格運動の急務

田原登

平放送局昇格問題は當地方文化の興隆に劃期的な役割を果すものであるため、地元平市當局を始め昇格期成同盟會その他有志はかねて東京、仙台、郡山の各關係方面と數回に亘り運動を續けた結果、去る七日GHQから權威者ウォーカー少佐が來平、種々調査の上關係方面の人々と打合の上歸つたが、實現可能なような氣運に向つたようである、然し運動は今後に於いて本格的に行はねばならぬので十五日午後一時から公會堂日本間で關係方面多數集會の上これ迄の經過報告や今後の運動方針等を協議した

聞くところによるとこの問題に關して一番困つているのは運動費が無いと云うことである、これ丈け重要な事を前にして運動費が不足して動けない等と云うことはあつてはならない

そこで郡下各市町村の公共自治團体その他に呼びかけて應分の醵金をしていただくことはよいことと思はれる、假りに一町村一万円を出して貰へれば三十万円位は立ち處に出來るわけで、この位の金なら一回の宴會費を省けば出せるわけであらう…而して昇格と決定すれば廳舍建設その他の設備費は一切放送局で負擔し地方の寄附は仰がないとのことなので、一部に昇格と決まれば又寄附金をとられるだらうとの危惧があるようだがこの心配は全然ないとのことだ

原町、若松方面のこの運動がやや下火になつて、平放送局のみ有望化して來たとき地方民の熱意を今一段と見せなければならない、大きく云えば千載一遇の好のチャンスである、万一この機會に物にしなかつたなら恐らく平地方には何時になつて出來ることかまこと疑問である、それは石炭が現在國家的に重要產業で增產しなければならぬ時期であるからこの恩惠によつて有望なわけなので、石炭だからと云つていつまでも重要產業に止まるわけのものではない、經濟產業情勢だつて刻々に變化しつつある、これを考えると今こそチャンスだと云うわけである

求む
貸家、賣家、寮向住宅
平石炭局職員用
平市内並ニ近郊
平石炭局總務課

謹告
毎度乘車有難度御座います弊社儀今般平驛構内駐車御認可を機と致し平市を中心とする各路線の自動車は大方皆々様の御要望にこたへ本月十六日始發車より總て平驛構内より發着致すことに相成りました右御案内方々御通知申上ます
昭和二十四年二月十日
常磐交通自動車株式會社

眼科專門
安田眼科醫院
平市紺屋町五一　電九五四

内科
小兒科
三井醫院
平市仲田町六九
三井五郎
電六一五

ニッカ、ウイスキー
品質優良につき御推奬いたします
各酒店にて販賣して居ります
石城酒販協會常任理事
永山勇吉

トレージャー『寶』ミシン
現金　家庭用　職業用　月賦
御相談に應じます
平市南町（電960）
草野ミシン商會

鈴藤
買入と賣販
洋服とキモノ
田町
井坂醫院前
電話93番
賣店
銀座通り

鮫川堰を聽く

古川傳一氏を訪ねて

（上）

史談會員　鈴木光四郎

磐城史談會第十五回例會は二月六日、稲田町の古川傳一氏を訪ねることとした。山崎會長はじめ會員二十名、學生十名が參會した。七時の汽車で稲田え向つたが昨今の暖かさのため車窓からは爛開の梅花を山々に見受けられた九時近く古川氏宅に到着した。今日の日程は古川氏から長い年月、苦心された後、見事に完成されつつある鮫川堰の話をうかがうことであつた。氏のお話を次のように速記したのであるが詳細なる點については後日にゆづることにしたい

鮫川堰の起り

明治三十一年五月、時の石城郡長桐原彦吉氏は石城郡小名濱町、玉川村、泉村、渡邊村、稲田町、上遠野村の二町四ケ村一帶七百町歩の水田は用水の設備がなかつたので鮫川上流より水をひいて灌水しようと努力したのである。桐原郡長は明治三十年から三十六年末まで在任したのであるが寧難がけで東西に奔走し自ら鮫川のほとりに堀立小屋をつくつて宿泊しつつ實地調査にあたられたのである。郡長はまづ二町四ケ村灌漑用水路期成同盟會を結成し工事の認可を申請するとともに測量設計に着手し同年十一月水利組合設立の認可を得たのである

第一期水路工事

明治三十二年十二月總工費二十万七千円の組合債をもつて着工、同年九月竣工し通水したが設計の良きに反して施工が不良であり地質の軟弱等のためわづかに渡邊村地內に通水したのみであつた。組合から縣に陳情した結果、縣營土木事業として二万円の補修費と六万円の改修費をもつて竣成したが小名濱まで通水したのみで目的をはたさず、そのまま放棄されてしまつたのである。

明治三十六年二十万七千円を勸業銀行から起債して直に改修工事に着手した。その起債は元本二十四万七千円となり明治三十八年には三十万七千円となつて組合はその負擔に苦しんだのである。鮫川堰水利組合の關係者は堰關係の土地を一反歩二十五円で賣却して負債を償還しようとしたのである。このころ組合は全く負債償還組合にてん落し水路は廢きよに歸ししかも責任者桐原郡長は左遷されてしまつたのである。

工事復活えの努力

この頃、星一氏がはじめて代議士となり氏と縣當局との斡旋によつて組合は勸銀と交渉の結果、利子は切りすてて明治八十五年まで（昭和二十六年まで）年額二千八百円を償還することになつた。この二千八百円は縣の救濟補助金四万円を農工銀行に年七分の割で預入れその利子二千八百円を組合の返濟金としたものであつて現在にいたるも、この金額は支拂われているのである。

鮫川電力會社の創立計畫

鮫川疏水の水路は廢きよとなつて放置されているうちに大正八年即ち第一歐州大戰終末の頃となつて日本に於ては經濟勃興時代即ち成金時代が到來した。小さな泡沫會社が林立し一駄（二俵）二十円の米が四十四円に、石當りでは五十円に騰貴して所謂米騷動が起る始末で各種の產業が勃興したのである。

富木七郎氏（後の松下七郎や林田龜太郎氏（衆議院書記官長）が中心となつて渡邊村の鮫川の百七十尺の落差を利用して發電計畫を立てたのである。それは鮫川水路を上流に於て閉さくして發電し發流地帶で水田に放水するという條件のもとに計畫された。時の郡長は菅沼錄太郎氏であつた。この計畫は一石二鳥のねらいがあつたので水利組合長は爭うて會社の株主となつたのである。

當時古川氏は稲田水電にも關係していたが鮫川電力會社のこの計畫は極めて不確實であつたので反對したのである。然るに鮫川電力會社は何の仕拂もせず拂込金を費消するばかりであつた。これは林田氏の選擧費用に使用されたものであると傳えられた。

不況時代の到來

大正中期の好況時代の終末と共に大正十年の不況時代が來た。未拂込金の拂込を强要し幽靈會社を主宰し、それによつて生活する者が續出した中に河野英良氏が出現した。彼は鮫川電力會社の專務となり未拂込金を取立てることを計畫した。組合員は驚くと共になすべき良策を持たなかつたのである。

大正十二年關東大震災が起つた年に古川氏はこの問題に關して立たざるを得なくなつたのでありこれが氏の鮫川疏水に關係する直接の動機となつたのである。この頃古川氏は福島縣會議員に選ばれ拂込强要の波狀戰術を貫する河野氏に對抗して會社設立の目的喪失を理由とする水利權の取消を確認して拂込拒否の策に出でたのである。その後・東縣土木課長の忠告に從つて會社の創立無效、水利權取消の質問を縣會に通告したが永井內務部長の責任に於て解決することに決した。然るに香坂知事、永井內務部長相次いで轉任したのでこの策も水泡に歸したのである。

古川氏は河野專務を東京本社に訪れ數次にわたつて直接交渉の結果河野氏は株金總額四分の三に對する未拂株の拂込强要から手を引くこととなつてこの問題は解決した

小川村と川內村を結ぶ

開拓林道開發

實現すれば五百町歩の開懇も可能

（既報）郡內小川村と双葉郡川內村を結ぶ開拓道路の建設期成同盟會準備會は十四日午後一時より平市公會堂日本間に平、小川、赤井の代表者、地方事務所、開拓事務所、地元選出縣議らが出席して開き小川村大字十和田より川內村字津川に通ずる延長十三キロ幅員三米林道をトラックが通ることの出來る四米半道路に擴張するため全額國庫補助を得て二十四年度事業に計上するよう陳情することになり、今度開かれる本年度最終縣會に石城、双葉選出縣議團から建議案として上程することになつた

この開拓道路の通る兩村境界線附近は林產資源が無限と云はれまた五百町歩の開墾を目標に開拓も進められており既に十八世帶が入殖三百四十三町歩の開拓に着手しているので同道路の完成により開墾事業も飛躍する一方今まで福岡縣に出荷していた全國第二位を誇る川內の木炭四十万俵のうち三十万俵は距離の短くなつた同道路を利用して消費地の石城地方へトラックで直送されて來ることになり同地の開發は急速調をとることになるものと見られるので期待されている

なお地元の小川村では同道路の完成を一日も早く實現するようにと同村田久彌治氏を會長に一足先に期成同盟會を結成している

社會科授業公開

二十四、五兩日平第一校で

縣教育委員會主催による（軍政府民間教育部後援）郡下中學校社會科公開授業並研究協議が來る二十四、五の兩日午前九時から市第一小學校に開催する事になり地方事務所では各學校とも社會科主任の出席をのぞんでいる、なほか、高學校でも代表者の出席參觀をのぞんでいるが、當日は社會科に關する兒童の授業參觀を行いその批判並に社會科研究議題の研究協議を行う

△△△△△△△△△

職組のストに勞組靜觀

鯨岡勞政所長一撒え警告

市內紺屋町田邊製作所（社長田邊忠雄氏）職員組合員十九名は去る十日午前中サボに突入、午後から無期限ストを敢行目下續行中であるが、これは去月二十三日會社側に對し平均ちん金六千百円（從來三千八百円）値上げとともに勞働協約の締結を要求、本月九日會社側と團体交渉をおこなつたが會社側は現在の經營では四千八百円ベースにしか應じられぬ、又勞働協約では組合の要求する經營の〃共同經理〃には反對だと回答經に組合側との交渉が決裂したものである、なお同會社の工員から成る勞組はこの問題に參加せず、目下靜觀中で結果を注目されているが同職組のストについて鯨岡平勞政事務所長はつぎのごとく語っている

今度のストばかりでなく大底の組合では勞働協約の中に平和的條項、苦情處理機關についてはつきりと明示していないのが心配だ又組合は極東委員會の勞組十六原則による第七項の組合本來の義務と責任の限界をわすれないことを强要したい

三、九原則遵守

常磐內郷第一部會が推進

常磐炭鑛勞組內郷支部第一部會（組合員八百名）は去る八日正副部會長の選擧を行つた結果、部會長本田辰雄、副部會長野澤武雄、齋藤際の三氏が選出され、早速同部會の刷新を計る爲十三日役員を改選書記長に後藤傳氏を推し今後は

一、職場委員會の部會制度は複雜して統一がとれないから單一化を計る爲努力する

一、三、九原則を遵守し新しい民主的組合を確立

するとの二點を强力に促進することになつた

勞働組合の民主化

各地で協議會開く

平勞政事務所では過般の勞働次官の指示に基く民主的勞働組合及民主的勞働關係の助長を計るため、組合規約、勞働協約の指導協議會を左の日程により實施する

◇十七日常磐炭鑛於自治會館午後一時から勞組午後三時から職組

◇十八日矢郷炭鑛午後一時から

◇十九日磐炭鑛午後一時

指導農連の計理競技

入賞者發表

指導農連石城支所主催の郡內農協組職員の計理事務競技會は十四日午前十時より本社ホールにひらきつぎの入賞者を決定した

◆加減算一等小沼榮津子（大浦農協）二等若松茂平（大浦）三等新妻信夫（四倉）◆乘除算一等小沼美津子、二等新妻信夫、三等鍛倉忠治（赤井）◇貯金利息の計算　一等新妻信夫、二等篠崎昌義、草野）三等小沼美津子◆試算表リレー對抗。一等小濱、門馬、篠崎

引揚者配給

郡內へ毛布と布團

石城地方事務所では昭和二十三年一月以降外地から引揚者に對し毛布布團の配給をおこなうべく各町村民生委員にその割當方を依任した、郡下の割當數量は毛布三十六枚、布團二十六枚で現品は入荷濟み、なお配給値段は布團四千四百七十五円四千円の二種類、毛布もおなじく四百九十九円四十錢、二百五十九円となつており、なお全額、半額三分の一無償配給がおこなわれることになつている

亂暴な勞務課長さん

暴行傷害で一應書類送檢

暴力問題で昨年十二月四日第三回勞組代議員大會の席上、百五十八對六十で暴力勸告をうけた好間村上好間古河好間炭鑛勞務課長彬野京次氏（四七）は去る九日以來暴行傷害容疑で平地區署の取調べをうけていたが十四日身柄不拘束のまま送檢された、容疑內容は二十一年六月頃全鑛忽滑クラブで古河炭鑛勞組與野田朝夫氏（四二）に些細な事から毆打暴行を加えたほか更に昨年三月全鑛職員クラブで社用打合せ中の全鑛職員係長後藤六郎氏（三九）を呼び出し難題を吹かけ電氣コンロや椅子を投げつけ背部その他に全治一週間の傷害を與えた

竊盜送檢

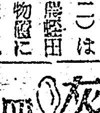
タンスから　東白川郡鮫川村木挽業鈴木正（四二）は去る六日上遠野村根岸農藍田勝哉さん（五〇）方の物置に侵入、簞笥から羽織他衣類九點糯米一斗八升五合、一万五千円相當を盜んで逃走中であつたが去る十一日稲田驛前に不審訊問に引掛つて逮捕された十三日身柄を送檢

豚を盜む　市內胡麻沢行商田代剛好（六三）は昨冬十一月初旬頃渡邊村下市宮籾米業榊原ミイさん方から豚一頭をぬすんだこと發覺平地區署から十二日身柄を送檢

鶏泥棒　平市菫子町無職岩谷常千代（三九）は十三日早朝郡谷村照農業試驗場石城分場の養鶏舎からニワトリ十二羽九千円相當を窃取全夜湯本町某旅館方に賣込みにきたところを湯本署に檢擧された、他に余罪あるらしく追及中

銃砲違反に懲役　市內南町興業師岩崎寒作（四一）は銃砲等所持禁止令違反で十四日平地裁支部から懲役三ヶ月の言渡しがあつた

七萬圓　市內月見町磐城貨物營業所代表者片桐重治さん（四五）は十二日午前六時から七時頃までの間に自動車タイヤ一本他二點（時價七万円相當）を盜まれたと八時頃市署に屆出



平簡易裁判所の二月中に取扱つた罰金五十件金額にしてざつと二十万円で先月の約倍額となつているが、罰金を納入できないものが連日平檢察廳に泣き込み戰術をとり、延納や分割拂いを陳情係官を手古ずらせている、情に訴えられては何時までたつてもけぢめがつかないので今度からは未納者に對しどしどし逮捕狀を出し同罰金に相應した拘留勤務させることになつた泣き込み戰術や罰金のヤミにも釘を刺されたわけ

二日醉・胸やけ・頭痛・ツカレ。
には迷はずおいで下さい
明日の勸めにらくになると皆樣から喜ばれている
特別藥が有ります
平市田町驛前銀座
阿康藥局

本場自慢の牛豚肉
親切本位
平驛前
綠屋商店
電話 ナナクシ ヒ九四

ぬれたインキで乾いて書ける
最新型。ノック式 ボール・ペン
岡崎文具店
美術石齋名器入荷致しております
どうぞ御批評下さい
平市三丁目 電三九九

限定予約募集
ビクター洋樂愛好家協會 第二輯
每月一枚名曲を配布 六枚一組
アルゼンチン名曲アルバム 第一輯
アルゼンチン音樂の最高峰 六枚一組
未完成交響樂（新輸入盤）
フイラデルフイアー交響樂團 三枚一組
平和通り
天地堂

キモノ洋服
買入
氣輕に御相談ください
きつと御滿足の上値で……
福屋
平驛前シガロネ大通り

平市五丁目
㊇
釜屋商店
電九・九九

家庭金物一般
マルヘイ商店
平銀座 電一一四
]